

講師紹介

みなさん、こんにちは！今年から三笠塾講師になりました、石渡真衣(いしわた まい)です。

私は現在大学で、日本語教育とベトナム語を勉強しています。三笠塾では日本語教育に加え、生徒のみなさんからベトナム語を教えてもらい、講師であると同時に私も生徒の一人として毎週参加しています。生徒のみなさんとは歳も近いので、勉強に遊びに、友達のように接してくれることがとてもうれしいです。

私は日本語の発音や会話を中心とした授業をしています。また、教室だけでなく Facebook を使ったオンライン授業もこれから積極的にできるように準備中です。なかなか教室に来られないみなさんも、困ったことや悩みがあれば気軽に相談してくださいね！

これからもどんどんみなさんと一緒に成長し、楽しんで日本語を学びたいと思います。

どうぞよろしくをお願いします！

試験へ追い込み！

三笠塾模擬試験が始まりました

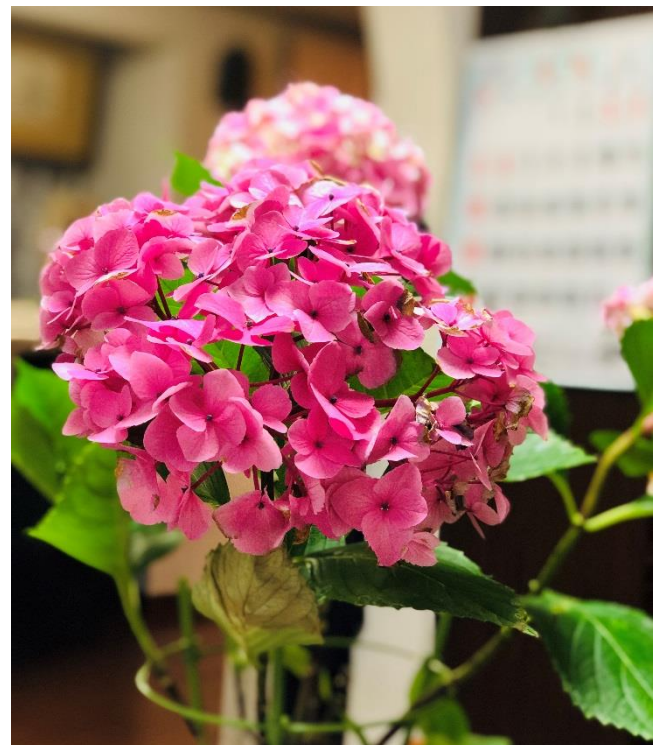
時間がたつのはとても速いもので、先日、試験の申し込みが終わったと思ったら、試験までもう1か月ほどになってしまいました。

今回の試験についても、三笠塾は模擬試験を数多く予定しています。5月18日(土)から7月7日(土)までを試験週間として、毎週土曜日、日曜日は模擬試験を行います。

	土曜日	日曜日
N1	【試験】午前11時～ 【解答】午後2時～	【試験】午前11時～ 【解答】午後2時～
N2	【試験】午後2時～ 【解答】午後6時～	【試験】午後2時～ 【解答】午後6時～
N3	【試験】午後2時～ 【解答】午後6時～	【試験】午後2時～ 【解答】午後6時～

5月12日は

『母の日』でした！



三笠塾に勉強に来ているイさん(知恵さん)が紫陽花の花をプレゼントしてくれました

三笠塾のゴールデンウィーク（GW）

都電で巡る 東京散策ツアー



10連休となった今年のゴールデンウィーク。

その最初の日曜日である4月29日に三笠塾では、有志による東京観光に行きました。今回の東京観光は題して、『路面電車で巡る 都電荒川線沿線 都内プチ散策旅行』です。午前11:00、東京メトロ東西線の早稲田駅に集合し、散策スタートです。

駅の近くの穴八幡宮へ立ち寄り、お参りしたのち、散策の出発地点である都電荒川線の早稲田駅へと歩みを進めます。

天気は快晴！青空により一層新緑の緑が映えます。

今回の散策に参加したのは、講師8人、学生3人の総勢11人です。今年から小学生の三笠塾最年少、英君は今日も元気に走り回ります！

穴八幡宮から15分ほど歩いて、都電荒川線の早稲田駅に到着すると、目に映ったのは路面を走る一両編成の電車です。どこからともなく「かわいい」の声が挙がります。一日乗車券で電車に乗り込み、最初の目的地である「鬼子母神前」を目指します。

10分ほど都電に揺られ、鬼子母神前に到着です。

鬼子母神へと続く参道を歩き、そのわきに並ぶ様々なお店を眺めながら、鬼子母神へと向かいます。鬼子母神のある『武芳稲荷神社』に到着すると、まず目に入ったのは、奥までいくつも連なる鳥居の列と懐かしい雰囲気を持った駄菓子屋さんでした。神社でのお参りを済ませ、お団子を頬張りながら、少し休憩です。

お団子と休憩で元気を蓄え、次なる目的地へ出発です！

鬼子母神周辺の商店街を散策していたら、いつの間にか、お昼ご飯の時間です。商店街のかわいらしい佇まいのカフェ

でお昼ごはんということになりました。今回の昼食はハンバーグ

セットです。和風テイストのソースがとてもおいしいハンバーグでした。付け合わせのジャガイモのソテーやスープもおいしかったなあ。

昼食を終えると、再び都電荒川線に乗り込み、『飛鳥山公園』を目指します。昔は桜の名所だった飛鳥山も、今はミニロープウェイやたくさんのおもちゃが訪れる子どもたちを楽しませる場所になっています。三笠宿の元気っ子、英君も目いっぱい楽しんだようです。



タンポポ綿毛隊 結成！

飛鳥山公園を出ると、最終目的地で電車の終点『三ノ輪』へ向かいます。

三ノ輪駅ではみんな小腹がすいていたのか、商店街でコロッケなどのお惣菜を購入です。お肉屋さん、お惣菜屋さんのコロッケやメンチはやっぱり



武芳稲荷神社の鳥居をバックに！

おいしいですね。商店街をコロッケ片手に散策し、この日の旅程は終了です。
普段、池袋方面にはよく行く筆者ですが、新宿・池袋とまた違った東京を再発見することが
できたすてきな東京散策だったと思います。 (行事俊明 著)

三笠塾 学生作文紹介

『わたし』発信室

「ファン・ボー・チャウ氏と浅羽佐喜太郎医師の友情物語から」

グエン ティ ビック テュイ さん

私は小学校の歴史の授業でファン・ボー・チャウを知りましたが、そのときにベトナムの民族の偉大な革命家だということしか分かりませんでした。しかし、佐賀大学で勉強していた先輩のフェイスブックで「ベトナム独立運動家ファン・ボー・チャウ氏が日本人医師浅羽佐喜太郎医師のため、静岡県袋井市に記念碑を建立してから 100 年になる」ということを知りました。

「ああ、ファン・ボー・チャウはそんなことをしたのか」と私はちょっと驚きました。

もっと詳しく知りたくなり、グーグルやユーチューブなどで、この話を調べました。すると、この美しくて高潔なファン・ボー・チャウ氏と浅羽医師の友情物語に感動させられました。異国で見ず知らず無関係な二人でも、ファン・ボー・チャウ氏と浅羽医師は互いに分かり合っていました。すごいです。相手の言語が分からないのになぜでしょう。浅羽医師の温かい心のせいか、浅羽医師とファン・ボー・チャウ氏が信頼し合っていたからか、運命のおかげなのか。分かりません。でも、素晴らしいです。ファン・ボー・チャウ氏と浅羽医師が会って、浅羽医師は自身と自身の家族が窮地に陥ったときにもファン・ボー・チャウ氏を助けました。ファン・ボー・チャウ氏は自分のこと、祖国のベトナムがフランスから残虐な支配を受けていることを浅羽医師に訴えました。「フランスの支配に苦しむベトナムを救いたい」と聞いた浅羽医師の心にファン・ボー・チャウ氏への共感が芽生えました。自身が怪我をしてでも、国を救いたいです。浅羽医師はファン・ボー・チャウ氏と一緒に考えると約束しました

医師として患者であるファン・ボー・チャウ氏の身体を心配するだけでなく、浅羽医師はファン・ボー・チャウ市の理想や意志、愛国心を深く理解したのです。浅羽医師は自分の交友関係を使い、ファン・ボー・チャウ氏と当時日本の政権の中枢を担っていた人物を引き合わせました。ファン・ボー・チャウ氏はその人物にベトナムの支援を求めましたが、求めは拒否されました。ファン・ボー・チャウ氏は希望も何もなくなり、絶望の淵にありました。そんなファン・ボー・チャウ氏を浅羽医師は「ほかにも道はたくさんある。あきらめずにその道を探そう」と励ましました。その励ましによりファン・ボー・チャウ氏は再び希望を持つことができたのです。もしその時、浅羽医師の励ましと応援がなかったら、立ち直れず、あきらめていたことでしょう。

私たちの人生において、何度も困難や苦難にさらされることもあるでしょう。

そんな時、苦しみに共感して、応援してくれる人に出会うと、私たちはまた希望を持って、悲しみを乗り越えることができます。絶望の淵からはい上がったファン・ボイ・チャウは新しい方法を見つけ、浅羽医師も自分のことのように喜びました。ファン・ボイ・チャウ氏が立ち直ったことが嬉しく、またベトナム国民の自由への希望ができたからです。そして、浅羽医師は引き続きファン・ボイ・チャウのそばでサポートすると約束しました。

私は本当に感動しました。ファン・ボイ・チャウ氏が「どうしても助けてくれるのか」と質問すると、浅羽医師は「あなたがベトナム国民を助けたいのは何故か。私と同じだと思う。理由はない。ただ助けるのみだ」と答えました。その頃はファン・ボイ・チャウ氏にとって、一番幸せな時代でした。時々目を見て、うなずくだけでも互いの心を分かり合えました。

本当に素晴らしいです。ファン・ボイ・チャウ氏が困難に直面している頃浅羽医師は病気を発症していました。しかし、体が弱っていてもファン・ボイ・チャウの事を気にかけて、彼の困難に手を差し伸べたい一心でした。

病気を忘れて、名誉を忘れて、代わりに手助けしてくれる人を探し、哀願しました。本当に感動します。浅羽医師はまた世界はファン・ボイ・チャウの敵でも、自分は彼の味方だと言いました。二人の友情は本当に強固で、暖かいです。生きていく中で、このような友情を育つことができるのは幸せなことです。私は心打たれました。

ファン・ボイ・チャウ氏と浅羽医師は後世に美しく高潔な友情物語を残しました。二人の良い気質は私たちの手本となるような良い見習いします。